令和七年度採用　高等学校　国語

教科（科目）	国語
受験番号	

一　次の文章を読んで、後の㈠～㈥の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

2025 kyosai-guild.jp

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

2025 kyosai-guild.jp

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

（出典　中村良夫　著「風景学入門」）

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

(一)　本文中の［ア］～［ウ］に入る言葉の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は11。

① ア　うそらしいうそ　　イ　うそ　　ウ　まことらしきうそ
② ア　うそらしいうそ　　イ　まこと　　ウ　まことらしきうそ
③ ア　まことらしいうそ　　イ　まこと　　ウ　うそらしきまこと
④ ア　うそらしいうそ　　イ　まこと　　ウ　うそらしきまこと
⑤ ア　まことらしいうそ　　イ　うそ　　ウ　まことらしきうそ

2025 kyosai-guild.jp

㈡　本文中の［a］に入る四字熟語として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は12。

①　大同小異
②　虚々実々
③　同工異曲
④　十人十色
⑤　泰然自若

㈢　本文中の――A「小賢しい知の傷」とあるが、造形における「小賢しい知の傷」とはどのようなものか。この説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は13。

①　人が想像するイメージは、含みのある象徴を伴うが暗示はできないという限界があるということ。
②　人の作り出す安堵感は、謙虚に用いれば深く渋い響きを持つ品格につながる展望があるということ。
③　人が巧むことで生まれるこだわりは、自然をコントロールしているという見え透いた作為があるということ。
④　人の考えるはかりごとは、影響を及ぼせる範囲に限界がないため虚無感があるということ。
⑤　人の持っている知識は、謙虚にそれを振り返ることで初めて効果を発揮する使い方があるということ。

㈣　本文中の――B「心劣りせらるゝ」とは誰が誰に対して抱く気持ちか。この説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は14。

①　わづらわしく好みなせる人が調度を持つ人に対して抱く気持ち
②　「徒然草」の筆者が調度を持つ人に対して抱く気持ち
③　物がらのよき人が古めかしきやうな人に対して抱く気持ち
④　「徒然草」の筆者が古めかしきやうな人に対して抱く気持ち
⑤　物がらのよき人がわづらわしく好みなせる人に対して抱く気持ち

2025 kyosai-guild.jp

(五) 本文中の――C「物の品格」とは具体的にどのようなものに宿るのか。具体的な例を挙げている箇所に即しつつ、それを説明しているものとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は15。

① 一見古いように見えるが、大げさでなく品質が良い道具類。
② 費用をかけずに、自らが使いやすいように作った日用品。
③ 破損しないように、持ち主が丁寧に修繕した日常の調度品。
④ いにしえの昔から伝わる、茶壷のような高級な道具類。
⑤ 持ち主が趣向を凝らした、自分なりのこだわりを持つ仕立物。

(六) 本文に書かれている内容として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は16。

① コンクリートの護岸に改修した川が周辺から浮いてしまうように、彫琢をほどこしても虚構からはなかなかまことが生まれてこない。
② 野道の魅力は道自体にあるのではなく、本来の人が歩くという用を彫琢と捉え、用を超えるところから派生するものである。
③ わたり六分の中心的な意味は現実の多様性にあり、それは杓子定規を排した彫琢の果てに現れるものである。
④ 風雅のまことは彫琢のこだわりを否定することから始まるが、一方で本来の用はきちんと表出しなければならない。
⑤ 景のまことは巧むことを否定する彫琢の結果、含蓄のある素朴さに行きつくところに存在するものである。

2025 kyosai-guild.jp

二　次の文章を読んで、後の㈠～㈥の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

2025 kyosai-guild.jp

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

2025 kyosai-guild.jp

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

2025 kyosai-guild.jp

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

（出典　森浩美　著「最後のお便り」）

2025 kyosai-guild.jp

(一) 本文中の［A］、［D］に入る言葉の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は17。

① A そこで D しかし
② A 結局 D すると
③ A そこで D すると
④ A 結局 D さらに
⑤ A だから D しかし

(二) 本文中の――B「松尾らしい感じ」とあるが、このように寺田が思った理由として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は18。

① 息子の結婚披露宴の司会の報酬として、相場よりも多額の報酬額を用意する太っ腹なところから。
② 仕事として、息子の結婚披露宴の司会をした寺田に対して、無分別に、酒を飲みに誘うところから。
③ 一代で会社を大きく成長させた社長であるが故の、おごり高ぶった振る舞いをするところから。
④ 披露宴の後に、司会の寺田に丁重に挨拶に来てくれただけでなく、披露宴の前にも礼を言いに来る実直なところから。
⑤ 息子の結婚披露宴では礼服姿で立派だったが、額や目尻に深い皺が刻まれていて、疲れていそうなところから。

(三) 本文中の――C「目を覆わん」は、「目を覆う」という慣用句であるが、その意味として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は19。

① 現実を直視することがためらわれて、見ないで済ませようとする。
② 印象が強烈で見る人の注意をその点に集中させる。
③ まともに見られない事情があって、横目で見ようとする。
④ 自分に見えているものを疑って、何かの間違いではないかと思う。
⑤ 目に見えることに、全く興味や関心を示さず無視しようとする。

2025 kyosai-guild.jp

㈣　本文中の――E「松尾はおちょこを持つ手を止めて視線を遠くへ向けた」とあるが、これは松尾のどのような心情を描写しているか、その説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は20。

① 高校も通わずに、地元の工務店で働いた後、裸一貫で会社を興し、人生の遠回りをしながら苦労していた頃の自分を憐れむ様子を描写している。

② 冬の寒い日に、焚き火の周りで弁当を食べたり歌謡曲を聴いたりしていた時代こそ、人々が豊かに過ごしていたと懐かしむ様子を描写している。

③ 当初は母親に楽をさせたいと願っていたが、寺田と話すうちに母親に代わって故郷の長崎に恩返しができないかと考え込んでしまった様子を描写している。

④ 管理職となり、魅力のない仕事をせざるを得ない状況になった寺田の話を自身の境遇と重ね合わせ、絶望した様子を描写している。

⑤ 焚き火を見なくなったことに加えて、燃える気持ちやほっとできるものがなくなった淋しさを描写している。

㈤　本文中の――F「妙にくすぐったい気分になって頭を掻いた」とあるが、このように寺田が思った理由として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は21。

① 自分の仕事に対する母親の考えを皮肉って話したにも関わらず、松尾が母親の考えを称賛したため後ろめたく感じたから。

② 母親が自分の仕事に関心を持っていることに気付いていなかったが、松尾の母親に対する思いを聞いたことで母親の気持ちに気付き、母親の優しさを感じたから。

③ 何気なく母親の話をしたところ、思いがけず、松尾が自分をほめてくれたことに恥ずかしさを感じたから。

④ 専門職ならではの仕事の愚痴を述べていたところ、松尾が聞く耳を持たず、自身の母親の話を繰り返すことから賛同をしない松尾に失望したから。

⑤ 母親が自分の仕事内容を喜んでいると伝えたことが、一部の特権を持った人間のみに許されることであると松尾に非難されてしまい、当惑したから。

2025 kyosai-guild.jp

(六) 本文中の――G「私にとっては何ものにも代え難い朗報であった」とあるが、この時の寺田の心情の説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は22。

① 寺田は、松尾の会社がスポンサーとして新しいラジオ番組に関わると知り、飲み屋で松尾が語った親孝行の夢が叶うよう、力になりたいと考えている。

② 寺田は、広告代理店を通じて提案された新しいラジオ番組の企画は気に入らなかったものの、また番組で喋ることができるのは幸せなことだと感じている。

③ 寺田は、新しいラジオ番組を通して、松尾自身が母親に対して抱いている親孝行への強いこだわりの理由を知ることができるとひそかに期待している。

④ 寺田は、自分が飲み屋で話した若い頃の思い出話を松尾が覚えていたことを知り、今後も松尾との付き合いが続いていくことをうれしく思っている。

⑤ 寺田は、松尾の思いがタイトルに込められた新しいラジオ番組のパーソナリティーを任せられ、母親や松尾の思いにこたえたいと大変やる気になっている。

2025 kyosai-guild.jp

三　次の文章は、宮中の根合（菖蒲の根の長短を競う遊戯）に中納言と三位中将が参加することになった経緯と当日の様子について描いたものである。後の㈠～㈤の問いに答えよ。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

2025 kyosai-guild.jp

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

（出典　「新編日本古典文学全集17　堤中納言物語」）

(一)　本文中の――ア「潮いづかたにか寄らむと思しめす」とあるが、この意味として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は23。

① どちらが勝つとお思いですか。
② どちらに味方をなさるおつもりですか。
③ どこかに出かける予定がおありですか。
④ どんな場所から持ち寄られるとお思いですか。
⑤ どんな方々がお出でになられるとお思いですか。

(二)　本文中の――イ「しか」の意味として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は24。

① 婉曲　② 受身　③ 使役　④ 尊敬　⑤ 過去

2025 kyosai-guild.jp

㈢　本文中の――ウ「などとよ。この翁、ないたう挑みたまひそ。身も苦し」は、誰の発言か。最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は25。

①　三位中将
②　中納言
③　小宰相の君
④　方人の殿上人
⑤　左中弁

㈣　本文中の和歌A～Cの説明として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は26。

①　Aの「君が代の」は「千ひろ」を導き出す枕詞である。
②　Bの「なべてのと誰か見るべきあやめ草」は「安」を導き出す序詞である。
③　Cの「おふる」は「生ふる」と「負ふる」の掛詞である。
④　BCの歌は二句切れである。
⑤　ABCの歌は連歌である。

㈤　この文章の内容として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は27。

①　中納言は、小宰相の君に好意を寄せており、そんな中納言の様子を中宮とその側付きの女房たちは微笑ましく眺めている。
②　根合は、中納言が文句のつけようのないほど立派なあやめの根を沢山持ってきたため、左方の圧勝であった。
③　中納言は右の講師である四位少将に目をかけており、熱心に講師の指導を行い、無事歌を詠み上げさせた。
④　中宮が中納言のいる左方が負けるはずはないと帝に評しているのを聞き、三位中将はすねてしまった。
⑤　三位中将は洗練された美しさが大変際立つ方だが、中納言の上品で立派な様子には並ぶものがない。

2025 kyosai-guild.jp

四　次の文章を読んで、後の㈠～㈢の問いに答えよ。なお、設問の都合上訓点を省略したところがある。

著作権保護の観点により、掲載いたしません。

（出典「唐宋八大家文読本」）

㈠　本文中の――A「聖人莫不従而貴之」の読み方として最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は28。

① せいじんよりてこれをたつとばざるなし
② せいじんしたがはずしてこれをたつとぶことなし
③ せいじんよりてこれをたつとぶことなくんばあらず
④ せいじんしたがひてこれをたつとぶことなくんばあらず
⑤ せいじんしたがふことなくんばあらずしてこれをたつとぶ

2025 kyosai-guild.jp

(二)　本文中の［Ⅰ］、［Ⅱ］に当てはまる語句の組合せとして最も適切なものを、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は29。

① Ⅰ 賢　Ⅱ 貴
② Ⅰ 貴　Ⅱ 賢
③ Ⅰ 賤　Ⅱ 貴
④ Ⅰ 不肖　Ⅱ 貴
⑤ Ⅰ 不肖　Ⅱ 賢

(三)　本文の内容として**適切でないもの**を、次の①～⑤の中から一つ選べ。解答番号は30。

① 天下の争いごとは賢いか賢くないか、という点から始まる。
② 天下には、卑賤でありながら自分のことを高貴だと言う者はいない。
③ 賢・不肖と貴・賤とは別のことがらであり、混同してはいけない。
④ 聖人は、賢者こそが高貴な身分につくべきだと考えた。
⑤ 聖人によって、天下の人びとは高貴なことよりも賢明であることに価値を認めるようになった。

2025 kyosai-guild.jp

令和７年度採用　岐阜県公立学校教員採用選考試験
第１次選考試験　高等学校　国語

解答番号	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20
正解	④	④	③	②	①	⑤	②	④	①	⑤

解答番号	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30
正解	③	⑤	②	⑤	②	④	⑤	①	②	④

2025 kyosai-guild.jp